

# 『さっきやま魂』

R3. 10. 22 第12号

発行人：校長 中山 末永

## 最後の仕上げ！

24日(日) いよいよ運動会本番を迎えます。コロナの影響で、当初の計画からおよそ1ヶ月遅れの開催になりますが、子ども達の気持ちは高まり、当日は、たくましく成長した子ども達の姿を見ることができそうです。

運動会の練習を見ながら、この1週間で指導を強化したのがあります。

一つ目は「バトンパス」です。どちらの手でバトンを持つのか、どちらの手でバトンをもらうのか、実は子どもによって様々でした。そこで、「右手でもらって左手に持ち替える」ことを指導しています。低学年にとっては難しいことかもしれませんが、渡す人ともらう人がぶつからないように安全にバトンパスを行うためには必要な技術です。

二つ目は「返事」です。これまで、コロナ感染対策として「大きな声を出さない」という指導を徹底してきました。しかし、市内での新規感染者が1ヶ月近く確認されていないことから、一人だけで声を出す場面は可としました。そこで、大切にしたいのが返事です。2学期から「はきはき返事」を合言葉にしなが、「大きく・はっきり・堂々と」にポイントを置いて指導してきました。その成果を確かめる良い機会となりました。短距離走では、選手一人一人の呼名がありますが、その時の返事が保護者の皆様にしっかり届くように頑張ります。

三つ目は「礼」です。これまでは、競技開始時に「おねがいます」、終了時に「ありがとうございました」という挨拶をしていましたが、コロナ禍のため大声を出すことができません。そこで、「やる気」と「感謝」の気持ちを言葉ではなく、動きで伝えたいと考えました。代表の号令に合わせて、心を込めた礼をしたいと考えています。

様々な制限のある運動会ですが、子ども達は自分の力を全部出し切って、すばらしい運動会にしてくれるはず。日曜日には、精一杯頑張る子ども達に、たくさんの応援をお願いします。

閉会式の練習に真剣に取り組む子ども達



## 花や野菜を育てるために・・・

2学期から、毎週火曜日の勤労タイムを「栽培活動」の時間としました。これまで以上に、学級園の花・野菜への興味・関心を高めたいと考えたからです。ややもすると、「苗を植えて終わり」となり、その後の手入れができていないことがあります。子ども達には、花が咲いたり収穫したりしたときの喜び、育てることの難しさ、毎日のお世話の大変さなど、たくさんのことを学んでほしいと思います。また、手を汚しながら作業をすることを嫌がらない子どもになってほしいと願っています。

崎山小学校は、「五島市花いっぱい運動推進協議会」が主催する「五島市花いっぱいコンクール」で毎年表彰されています。もちろん、表彰されて嬉しく思いつつ、もっと子どもの手による「花いっぱい運動」にしたいという思いも強くあります。来年度のコンクールでは、子どもの活動・活躍によって表彰されるように頑張っていきます。

